

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年 10月 17日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社河崎海事
所在地	〒471-2513 愛知県知多郡武豊町字一号地3番地の6
代表者役職・氏名	代表取締役 河崎宏明
担当者連絡先	電話：0569-72-1203 メール：hukaya@kawasakikaiji.com
ウェブサイトURL	http://www.kawasakikaiji.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は昭和45年に設立した海洋土木業者であり、愛知県の港湾を中心として海洋土木工事
潜水水中工事等の請負事業を実施しています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	定年後の人材を再雇用し更新の技術向上を目指す	社内教育訓練の実施 (現状) 月1回 (目標) 月1回+随時
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	資格取得の推進とサポート	土木施工管理技士の取得 (現状) 10名 (目標) 15名
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	海岸環境清掃活動等への参加	海岸周辺の清掃活動 青い羽根共同募金などの備金活動 (現状) 年1回 (目標) 年1回+随時

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社内研修の実施、従業員が気兼ねなく相談できる仕組みとしてご意見箱を設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	残業が続く従業員に対して工事内容の確認、工程の進捗状況を管理指導している									8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	月1回を目安に安全会議を実施し周知徹底を図っている		3						8								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	事業者又は安全衛生管理者による現場巡視 労働衛生旗の掲揚、スローガン等の掲示		3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	定年年齢を引上げ本人が希望した場合再雇用する障害者雇用を積極的に取り組む			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格取得費用を全額支給 教育訓練の実施を行っている			4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	給与規定に基づき本人のスキルと実績に応じた査定を行い賃金支給している				5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	年に1度健康診断を実施		3					8									
11 環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	自社船舶から発生する廃棄物の削減とリサイクル推進に取り組んでいる ごみの分別回収、コピー用紙裏面使用											11.6	12.4 12.5		14.1		
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	省エネに対応した空調や照明をLEDに変更し効率化重機や車両のアイドリングストップ推進						7.3							13			
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	エアコンの設定温度適正化(夏28°C・冬20°C目安)					7.2 7.3						12.4	13.3				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9				6.3				11.6	12.4				
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	環境に配慮した施工方法を行い環境負荷を削減している								6.6							15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる									6.4									
	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している					3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している					3.9									12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している											9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	性能の高い起重機を使用し生産性向上、後期短縮を図っている						6						12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	津波高波など自然災害を最小限にするための港湾インフラ整備を行っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	廃棄物の分別・リサイクル率向上 現場周辺の清掃活動、海や道路周辺の環境保全活動				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	地域清掃活動の参加、地域文化継承・海難防止運航マナー向上活動の為の寄付を行っている				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	地元の会社・職人の活用で地域雇用を創出								8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	SDGs行使による講演会を実施し理解を深める									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	法令リスト・責任者の明確化・点検内部監査を設置【予定】																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	熱中症対策として水分塩分補給、空調ベスト支給																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	中小企業等経営力強化法第56条1項に基づく事業継続力強化計画の認定を取得									9		11		13.1			16
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	後継者の指導育成の実施								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- 「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。